2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年8月3日

上場会社名 株式会社CRI・ミドルウェア 上場取引所

東

コード番号

表

代

3698 (役職名)

代表取締役社長

URL https://www.cri-mw.co.jp/

(氏名) 押見 正雄

問合せ先責任者

(役職名) 常務取締役 (氏名) 田中 克己

(TEL) 03-6823-6853

四半期報告書提出予定日

者

2023年8月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 :有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	3	営業利	J益	経常利	益	親会社株主にする四半期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	2, 161	10.0	253	_	284	647. 7	195	_
2022年9月期第3四半期	1, 965	△7. 2	7	△96.8	37	△86.3	△17	_
(12) - ITTIH 0000 II	HR 66 11 HR	101		7	0 		F0	1 00 0-

(注)包括利益 2023年9月期第3四半期

191百万円(229.7%)2022年9月期第3四半期

58百万円(△68.0%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円銭
2023年9月期第3四半期	36. 55	_
2022年9月期第3四半期	△3. 21	_

- (注) 1. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失で あり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 - 2. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有してい る潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	5, 089	3, 509	68. 2
2022年9月期	5, 016	3, 536	69. 7
(全主) 白口次士 2022年 0	口世体の四半世 りん	72	0年0日#1 2 400年1

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 3,473百万円

2022年9月期 3,498百万円

2. 配当の状況

— · HO — · · · / · / · · ·						
	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	
2022年9月期	_	0.00	_	0.00	0.00	
2023年9月期	_	0.00	_			
2023年9月期(予想)				0.00	0.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	5	営業利:	益	経常利	益	親会社株主 する当期和	に帰属 ・利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2, 785	△2.0	330	238. 7	330	138. 3	268	_	49. 11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) 、除外 —社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更
①以外の会計方針の変更
会計上の見積りの変更
無
修正再表示
無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年9月期3Q	5, 578, 150株	2022年9月期	5, 578, 150株
2023年9月期3Q	353, 477株	2022年9月期	121, 377株
2023年9月期3Q	5, 342, 618株	2022年9月期3Q	5, 456, 797株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の要因に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報
(1) 経営成績に関する説明
(2) 財政状態に関する説明
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記
(1) 四半期連結貸借対照表4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項8
(継続企業の前提に関する注記)8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)8
(セグメント情報等)9
(1株当たり情報)10
(重要な後発事象)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の回復ペース鈍化による下押し圧力などを受けているものの、企業収益は全体として高水準で推移し、業況感は緩やかに改善しており、景気は緩やかに回復しております。

当社グループを取り巻く事業環境については、新型コロナウイルス感染症の影響によりライフスタイルが大きく変容し、ボイスチャットやWeb会議ツールなどオンラインコミュニケーションツールの活用は常態化しております。また、メタバースと呼ばれる仮想空間が注目を集めるとともに、テレワークやオンライン授業、ライブコマースなど、さまざまな分野でデジタル変革が進行しており、音声・映像を活用したオンラインサービスへの要求水準も高度化してきております。

これらの状況下、当社グループは、オンラインコミュニケーションプラットフォーム「CRI TeleXus (シーアールアイ テレクサス)」の開発を行うとともに、今後成長が見込める事業、市場を見据えた研究開発体制を整備し、事業基盤の拡大、グループシナジーの創出に注力いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,161,548千円(前年同期比10.0%増)、営業利益253,624千円(前年同期比3,370.6%増)、経常利益284,089千円(前年同期比647.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益195,296千円(前年同期は17,518千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント毎の経営成績は、次のとおりであります。

① ゲーム事業

当社製ミドルウェア「CRIWARE(シーアールアイウェア)」等の国内ライセンス売上は、当第3四半期において複数の一括ライセンス契約を受注したことにより、増加いたしました。一方、海外向けは、中国において新型コロナウイルス感染症の影響で停滞していたライセンス売上が当第3四半期より回復に転じたものの、これまでのマイナス分を補うまでには至らず、減少いたしました。株式会社ツーファイブが行う音響制作は、音声収録業務が堅調に推移いたしました。株式会社アールフォース・エンターテインメントが行うゲーム開発/運営の売上は、第2四半期で完了した開発案件に代わる大型の新規案件を獲得できず、減少いたしました。当セグメントの売上高は1,510,498千円(前年同期比1.0%減)、セグメント利益は182,799千円(前年同期比87.4%増)となりました。

② エンタープライズ事業

組込み分野の売上は、カラオケ案件の受注が好調に推移し、増加いたしました。また、モビリティについても、ADX-AT (サウンド開発ソリューション)の採用台数の増加に伴い、ライセンス収入が伸張したことにより、増加いたしました。新規分野の売上は、CEDECなどのカンファレンスシステム開発案件を複数受注し、増加いたしました。また、特定顧客からの公共系システム開発案件が堅調に推移したことに加え、当第3四半期で新たに電子玩具向けシステム開発案件を受注したことにより、増加いたしました。当セグメントの売上高は651,050千円(前年同期比47.8%増)、セグメント利益は70,824千円(前年同期は90,246千円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べて72,932千円増加し、5,089,592千円となりました。これは主に、「現金及び預金」の増加(前連結会計年度末に比べて97,995千円の増加)、「有価証券」の増加(前連結会計年度末に比べて100,397千円の増加)及び「その他流動資産」の増加(前連結会計年度末に比べて52,161千円の増加)並びに「ソフトウェア」の増加(前連結会計年度末に比べて63,126千円の増加)があった一方、「売掛金及び契約資産」の減少(前連結会計年度末に比べて124,036千円の減少)及び「有形固定資産」の減少(前連結会計年度末に比べて9,865千円の減少)並びに「投資その他の資産」の減少(前連結会計年度末に比べて111,308千円の減少)によるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末に比べて99,684千円増加し、1,580,131千円となりました。これは主に、「その他流動負債」の増加(前連結会計年度末に比べて120,574千円の増加)及び「未払法人税等」の増加(前連結会計年度末に比べて30,561千円の増加)があった一方、「買掛金」の減少(前連結会

計年度末に比べて49,714千円の減少)及び「固定負債」の減少(前連結会計年度末に比べて1,736千円の減少)によるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べて26,752千円減少し、3,509,460千円となりました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加(前連結会計年度末に比べて195,296千円の増加)があった一方、「自己株式」の取得による減少(前連結会計年度末に比べて215,364千円の減少)及び「為替換算調整勘定」の減少(前連結会計年度末に比べて5,498千円の減少)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の連結業績予想は、2023年5月11日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3, 316, 090	3, 414, 086
売掛金及び契約資産	630, 973	506, 937
有価証券	_	100, 397
商品	4, 063	3, 929
仕掛品	18, 228	27, 810
その他	54, 835	106, 997
貸倒引当金	△20, 087	△20, 087
流動資産合計	4, 004, 103	4, 140, 070
固定資産		
有形固定資産		
建物	125, 852	117, 593
減価償却累計額	△14, 577	△12, 256
建物(純額)	111, 274	105, 336
工具、器具及び備品	116, 867	120, 789
減価償却累計額	△67, 479	△75, 328
工具、器具及び備品(純額)	49, 387	45, 460
有形固定資産合計	160, 661	150, 796
無形固定資産		
ソフトウエア	368, 833	431, 960
のれん	13, 856	8, 868
無形固定資産合計	382, 689	440, 828
投資その他の資産		
投資有価証券	239, 794	138, 903
繰延税金資産	84, 032	73, 781
その他	145, 377	145, 210
投資その他の資産合計	469, 204	357, 896
固定資産合計	1, 012, 556	949, 521
資産合計	5, 016, 660	5, 089, 592

(単位	٠.	千	П	ı١
(里4)/	•		н-	U

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	108, 527	58, 813
未払法人税等	20, 704	51, 265
その他	167, 794	288, 369
流動負債合計	297, 027	398, 448
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1, 000, 000	1, 000, 000
退職給付に係る負債	129, 898	128, 273
役員退職慰労引当金	53, 229	53, 118
繰延税金負債	291	291
固定負債合計	1, 183, 419	1, 181, 683
負債合計	1, 480, 446	1, 580, 131
純資産の部		
株主資本		
資本金	784, 904	784, 904
資本剰余金	825, 290	825, 290
利益剰余金	2, 033, 795	2, 229, 092
自己株式	△168, 031	△383, 396
株主資本合計	3, 475, 959	3, 455, 891
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	22, 727	17, 228
その他の包括利益累計額合計	22, 727	17, 228
新株予約権	10, 842	7, 543
非支配株主持分	26, 684	28, 797
純資産合計	3, 536, 213	3, 509, 460
負債純資産合計	5, 016, 660	5, 089, 592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1, 965, 705	2, 161, 548
売上原価	1, 027, 932	906, 953
売上総利益	937, 772	1, 254, 595
販売費及び一般管理費	930, 464	1, 000, 971
営業利益	7, 307	253, 624
営業外収益		
受取利息	1, 187	1,871
受取配当金	7, 955	10, 637
為替差益	21, 383	_
その他	6, 486	25, 308
営業外収益合計	37, 012	37, 818
営業外費用		
事務所移転費用	5, 935	_
為替差損	_	7, 177
その他	392	175
営業外費用合計	6, 327	7, 353
経常利益	37, 992	284, 089
特別損失		
固定資産除却損	20, 319	_
特別損失合計	20, 319	
税金等調整前四半期純利益	17, 673	284, 089
法人税、住民税及び事業税	26, 851	80, 791
法人税等調整額	6, 431	10, 250
法人税等合計	33, 283	91, 041
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15, 610	193, 047
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失(△)	1, 908	△2, 249
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△17, 518	195, 296

四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15, 610	193, 047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49, 480	<u> </u>
為替換算調整勘定	24, 342	△1, 135
その他の包括利益合計	73, 822	△1, 135
四半期包括利益	58, 212	191, 911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51, 393	189, 798
非支配株主に係る四半期包括利益	6, 818	2, 113

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1.配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当金(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年11月11日 取締役会	普通株式	109, 136	20	2021年9月30日	2021年12月2日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額20円は、設立20周年記念配当であります。

2. 株主資本の金額の著しい変動 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

- 1.配当に関する事項 該当事項はありません。
- 2. 株主資本の金額の著しい変動 該当事項はありません。

(セグメント情報等) 【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益
	ゲーム事業	エンター プライズ事業	計	計算書計上額
売上高				
外部顧客への売上高	1, 525, 332	440, 372	1, 965, 705	1, 965, 705
セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	_	_	_
11111111	1, 525, 332	440, 372	1, 965, 705	1, 965, 705
セグメント利益又は損失(△)	97, 554	△90, 246	7, 307	7, 307

- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項 該当事項はありません。
- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

				(+L) · 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	報告セグメント			四半期連結損益
	ゲーム事業	エンター プライズ事業	計	計算書計上額
売上高				
外部顧客への売上高	1, 510, 498	651, 050	2, 161, 548	2, 161, 548
セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	_	_	_
計	1, 510, 498	651, 050	2, 161, 548	2, 161, 548
セグメント利益	182, 799	70, 824	253, 624	253, 624

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
1 株当たり四半期純利益又は 1 株当たり四半期純損失(△)	△3円21銭	36円55銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)(千円)	△17, 518	195, 296
普通株主に帰属しない金額(千円)	_	_
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)(千円)	△17, 518	195, 296
普通株式の期中平均株式数(株)	5, 456, 797	5, 342, 618
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	_	_

- (注) 1. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 - 2. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。